

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 共通 科目	国際文化論	1前	2			○			1						
	多文化共生論	1後		2		○					1				
	小計 ( 2科目)		2	2		—			1		1				
言語文化 専門科目	言語 研究 分野	現代英語学研究 (言語構造)	1・2前		2		○			1	2				
		現代英語学研究 (言語機能)	1・2後		2		○			1	2				
		歴史英語学研究	1・2前		4		○			1	2				
		フランス語学研究	1・2後		4		○			1	1				
		スペイン語学研究 (言語と社会)	1・2前		2		○			1	1				
		スペイン語学研究 (共時論と教育)	1・2後		2		○			2					
		ドイツ語学研究 (基礎論)	1・2前		2		○			1	1				
		ドイツ語学研究 (各論)	1・2後		2		○			1	1				
		中国語学研究	1・2前		4		○			2	1				
		一般言語学 (基礎)	1・2前		2		○			1	1				
		一般言語学 (応用)	1・2後		2		○			1	1				
		言語学各論 (言語と社会)	1・2前		2		○				1				
		言語学各論 (言語の時間空間的分布)	1・2後		2		○			1					
		日本語文法研究	1・2後		4		○								兼1
小計 ( 14科目)		—		36		—			11	10				兼1	
言語文化 専門科目	文学 思想 研究 分野	イギリス詩研究 (基礎)	1・2前		2		○			2					
		イギリス詩研究 (発展)	1・2後		2		○			2					
		イギリス小説研究	1・2後		4		○			1	1				
		イギリス文学批評研究 (基礎)	1・2前		2		○			2					
		イギリス文学批評研究 (応用)	1・2後		2		○			2					
		アメリカ詩研究	1・2後		4		○				1				
		アメリカ小説研究 (文学表現)	1・2前		2		○			3	1				
		アメリカ小説研究 (文化表象)	1・2後		2		○			3	1				
		英語圏文化批評研究	1・2後		4		○				1				
		フランス文学研究	1・2後		4		○				2				
		中南米文学研究	1・2前		4		○			1					
		ドイツ文学研究 (総論)	1・2前		2		○			2	2				
		ドイツ文学研究 (各論)	1・2後		2		○			2	2				
		中国文学研究 (基礎)	1・2前		2		○			2					
中国文学研究 (発展)	1・2後		2		○			2							
欧米思想研究	1・2後		4		○				1						
ヨーロッパ文化研究 (絵画芸術)	1・2前		2		○			1							
ヨーロッパ文化研究 (絵画表現)	1・2後		2		○			1							
日本古代文学研究	1・2前		4		○								兼2		
小計 ( 19科目)		—		52		—			14	9				兼2	
社会文化 専門	国際 社会 研究 分野	国際法研究	1・2前		4		○			1					
		国際政治研究	1・2前		4		○				1				
		国際経済研究	1・2後		4		○			1					
		国際協力研究	1・2前		4		○								兼1
		英米政治研究	1・2後		4		○				2				
		フランス政治研究	1・2後		4		○				1				
		中南米政治研究	1・2後		4		○			1					
		ドイツ政治研究	1・2後		4		○				1				
		東アジア政治研究	1・2後		4		○				1				
		欧米経済研究 (産業と企業)	1・2前		2		○			1	1				
		欧米経済研究 (EUの経済統合)	1・2後		2		○			1		1			
		東アジア経済研究	1・2前		4		○				1				
		日本地域研究	1・2前		4		○								兼2
		日本近世近代史研究	1・2前		4		○								兼2
小計 ( 14科目)		—		52		—			5	8	1			兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域文化研究分野	英米歴史文化研究	1・2後		4		○			1	1					
	フランス歴史文化研究 (中世・近世)	1・2前		2		○				1					
	フランス歴史文化研究 (近代・現代)	1・2後		2		○			1						
	ドイツ歴史文化研究	1・2前		4		○			1						
	東ヨーロッパ歴史文化研究	1・2前		4		○			1						
	東アジア歴史文化研究	1・2後		4		○			1	1					
	欧米地域研究	1・2後		4		○				1					
	比較地域研究	1・2前		4		○			1	1					
	文化人類学研究	1・2後		4		○			1						
	日本近世近代史研究	1・2前		4		○									兼2
日本地域研究	1・2前		4		○									兼2	
小計 ( 1 1 科目)	—		40		—			7	5					兼4	
共通関連科目	英語教育学研究	1・2後		4		○			1	1					
	日本語教育学研究	1・2後		2		○				1					
	国際コミュニケーションⅠ	1・2前		2		○									兼1
	国際コミュニケーションⅡ	1・2後		2		○									兼1
	国際文化特殊研究Ⅰ・Ⅱ	1・2		4		○									
	海外大学院修得科目	1・2		4											
小計 ( 6科目)	—		18		—			1	2					兼1	
研究指導科目	国際文化研究	1・2通	4				○		32	4					
	小計 ( 1 科目)	—	4		—			32	4						
合計 ( 6 7 科目)		—	6	200		—		38	34	2					兼13
学位又は称号		修士 (国際文化)			学位又は学科の分野				文学関係						
教育課程の編成方針															
<p>教育課程は導入としての共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導科目から編成されている。外国語学部の上に立つ研究科専攻として、国際文化専攻を言語文化と社会文化の2専門に区分し、さらに専門を言語、文学・思想、国際社会、地域文化の4研究分野に分けて、各国レベルの当該研究が融合される科目編成とした。なお、4研究分野の専門には各分野の独自性を活かす授業科目とともに、日本文化専攻との共通科目を設け、異文化と自文化理解を助けるようにした。また、共通関連科目には専攻にとって重要な語学運用能力を高める科目として国際コミュニケーションや、専修免許関連授業科目などを配置した。学生は、自らの研究分野を中心としながらも、隣接分野での単位も取得しつつ、総合的な研究手法を身につけて、修士論文の準備を進める。その際、前期課程1・2年を通じて修士論文に関わる研究指導 (国際文化研究) が行われ、年数回以上に及ぶ中間報告を重ねつつ、最終的に修士論文が完成する。</p>															
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
共通基礎科目2単位、専門の研究分野から4単位、同じ専門の他の研究分野から4単位、他の専門領域から4単位、2専門領域の4研究分野および共通関連科目から16単位を取得し、合計で30単位以上。そして修士論文の研究指導を受けて4単位 (論文審査合格時に取得) の総合計34単位以上を取得し、修士論文の審査に合格すること。								1 学年の学期区分				2 期			
								1 学期の授業期間				1 5 週			
								1 時限の授業時間				9 0 分			